

障がいのある人の雇用に取り組む

丹後テクスタイル株式会社 (京丹後市)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】

カーペット及び緞帳製造

【障がいのある人の主な仕事】

機械のオペレーション、仕上げ作業、製品の梱包など



【障がい者雇用の経緯】

15年前にハローワーク・特別支援学校からの紹介で初めて障がいのある人を雇用しました。現在は、発達障がい2名、身体障がい1名の人が働いています。雇用を通じた社会的貢献と、働くことによる成長を目的に、実習の受入れと雇用を続けています。各人の特性や適性に合わせた仕事づくりに努めており、それぞれの業務内容は異なります。

【Nさんに聞きました】

5年目です。特別支援学校から実習の時は難しいと思いましたが、家が近かったので入社しました。

機械オペレーションの仕事に変わりました。最初は糸の扱いなど難しかったですが、機械を動かすことが面白く、スピードを上げることに努力しました。自信がつき、仕事に積極的になりました。

仕事の幅を広げていきたいと思っています。

【Hさんに聞きました】

3年目です。実習の時、雰囲気良く、自分を理解してもらえそうに感じました。仕上げの補助をしています。作業は二人一組で行い、教えてもらうことが多いです。

上手くできた時は嬉しいですが、失敗して迷惑をかけることもあります。

【試行錯誤の中で】

指導する従業員が、特性を理解できず戸惑い悩むこともありましたが、繰り返し試行錯誤しながら教える中で、障がいのある人が、積極性を徐々に示すようになりました。それ以降、特性を理解するためによく観察し、考えて指示を出すようになりました。

現在、5年目の発達障がいの人は、当初は些細なことで対人関係に躓いていましたが、特性を考え、機械のオペレーションに業務を変える中で、次の日の段取りも考えたテキパキとした仕事ができる戦力に著しく成長しました。保護者や支援機関に自ら報告し褒められたことが、自信とやる気に繋がったようです。

他の2名も真面目に黙々と集中して仕事をしています。人手不足の中、様々な業務を熟していく、今以上の成長を期待しています。

令和4年11月取材